

## H21-P2 京都市の歴史的都心地区における歩行者と公共交通を優先した魅力あるまちづくり

### 京都市の課題

四条通は、多くの買物客や観光客で賑わう道路であり、歩行者数が自動車で移動される人数より多いにも関わらず、道路空間の多くは自動車によって占有されているため、歩行空間が大変狭くなっています。

### 対策

市内最大の繁華街である、四条通を中心とする都心地域での歩道拡幅による安全・安心で快適な歩行空間の確保や隣接する細街路での自動車流入抑制の実現など一体的な歩行者中心のエリアの確保による賑わいの創出を図ります。

### 成果目標

現況(平成23年度当初) → 目標(平成25年度末)

- ① 四条通におけるピーク時歩行者数の増加  
5,900人/時間(現況) → 6,500人/時間(目標)

### 事業が完成すると？

- ・都心中心部における魅力的な都市空間の形成
- ・ゆとりある歩道の実現
- ・通過交通の抑制等の効果が期待されます。

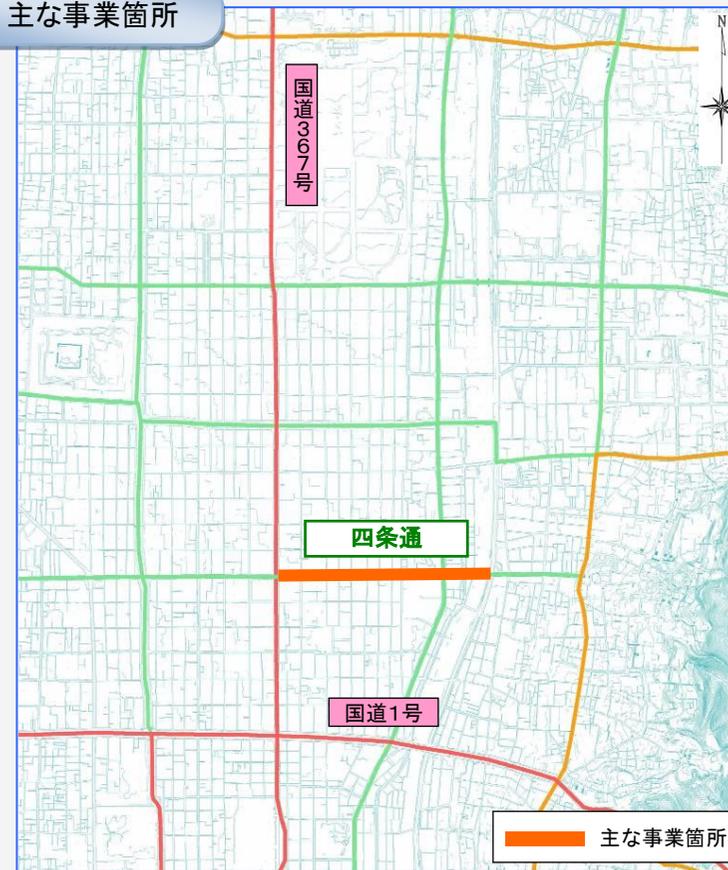
更にこんな効果が

- ・公共交通機関の利用促進
- ・地域の活性化を図り、にぎわいを創出

### 主な事業の実施状況



### 主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。